

伊万里警察署協議会開催結果の概要

令和7年7月25日

会 議	令和7年度 第1回 伊万里警察署協議会		
開催日時	令和7年7月11日（金）15：00～16：50		
開催場所	伊万里警察署 会議室		
出席者	○ 協議会：会長以下8名 ○ 警察署：署長以下11名 計19名		
議 事 概 要			
1 開会			
2 会長挨拶			
各委員及び伊万里警察署の皆様には、大変お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。 最近ではSNSで事件の実行者を募集する闇バイトやSNSを利用した投資名目の詐欺事件など、様々な事件・事故が発生し、不安に感じているところです。地域住民が安心して暮らせる社会は、私たちにとってかけがえのないものであることは、言うまでもありません。 地域住民と警察が連携してこそ、地域の安全・安心が確保できるものと考えていますので、本日は、地域の代表である委員の皆様の忌憚のない御意見を賜りたいと考えています。 最後になりましたが、本日の協議会が、私たちが生活する伊万里市、有田町の安全・安心のため有意義なものになることを祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。			
3 署長挨拶			
皆様には、平素から伊万里警察署の警察活動と業務運営に対し、御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。 本日は、普段の生活の中で感じていることなど、多くの御意見や御要望をお聞かせいただければと思っています。 昨年、管内では交通死亡事故が6件発生し、県内でも最も多く、極めて憂慮すべき状況でした。特に有田町内では5件発生したことから、早急な対策が必要と考え、有田町と協力し、町民から募集した交通安全のアイディアを活用した交通死亡事故抑止対策を強力に推進しているところです。 また、今年に入り特殊詐欺被害が後を絶たない状況ですので、現在、地域警察官の巡回連絡活動、報道機関を通じての情報発信、各種会合での広報啓発活動を行い、特殊詐欺被害の未然防止対策を行っているところです。 警察といたしましては、悲惨な事件事故をなくすために街頭活動や広報啓発活動など様々な取組を行っていますが、警察の力だけではどうしても限界			

があり、地域の皆様との連携が不可欠であります。

皆様には、今後ともお力をお貸しいただきたいと思いますので、本日は忌憚のない意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

4 協議

(1) 前回答申（令和6年度3回目協議会）に対する取組状況

ア パトカーや制服警察官の姿が見える活動の推進

交番、駐在所の制服警察官は、子供達が通学する早朝午前7時過ぎ頃から交差点や横断歩道直近での立番、バイクで管内を巡回する等交通事故防止に取り組んでいる。

また、ボランティアの方々と協力して追突事故防止や交通安全と書かれたハンドポップを持って街頭に立つといった活動も行っている。

イ 歩行者に対する交通指導の推進

高齢者に、自らの身体機能の変化が行動に及ぼす影響を理解してもらう交通安全教育・交通講話を実施している。

そのほか、明るい色の服装・反射材の着用促進、ハンドサイン横断の実践、ドライバーの動静確認をしてからの横断を指導している。

ウ 交通事故を自身のこととして捉える効果的な広報啓発活動の推進

交通事故マップの作成、交通安全に関するアイデア募集を行った。

また、秋の交通安全運動期間に、夜間の視認性を体験してもらう視認性実験を計画している。

(2) 業務概況

ア 警務課長 ～ 警察相談受理状況、警察官募集活動の推進、現場執行力の強化に向けた教養・訓練の実施、業務の効率化や職場環境改善に向けた取組不適切事案への対応

イ 生活安全課長 ～ 少年事件検挙状況、少年補導状況、主な生活安全関係特別法犯検挙状況、ニセ電話詐欺発生状況、人身安全関連事案への対応、犯罪抑止関係

ウ 地域課長 ～ 110番通報受理状況等、各種行事における雑踏警備、情報発信、広報活動

エ 刑事課長 ～ 刑法犯認知・検挙状況、薬物犯・暴力団犯罪検挙状況

オ 交通係長 ～ 人身交通事故発生状況、運転免許保有状況、交通違反取締り状況、活動状況

カ 警備課長 ～ 災害への備え、テロの未然防止に向けた取組

(3) 質疑応答・要望等

委員： パトカーの車検切れに関して、ヒューマンエラーを防止するため、車両の運行前点検の様式や実施方法等の見直しを行っているとのことであったが、交番、駐在所のバイクについてはどのような対策を行っているのか。

警察： バイクについてもパトカーに準じた対策を行っている。

委員： 警察官騙りの電話があった場合の対応要領を教えてください。

警察： 話をひとつお聞き聞いて、一旦電話を切って、警察や家族に相談を行うことにより詐欺を看破することができる。

委員： 110番通報も音声ガイダンスになっているのか。

警察： 警察署の局線電話が音声ガイダンスとなっており、110番通報

は警察官が対応している。

委員：横断歩道に歩行者がいて、渡るか渡らないか判断できないときの対応要領を教えてください。

警察：横断歩道に歩行者がいれば一時停止しなければならないが、一時停止して、歩行者が渡り始めなければ通過してかまわない。

委員：国際電話を利用した特殊詐欺について、海外からの電話に特徴はあるか。

警察：国際電話は電話番号の最初に＋がついている。＋81が日本の番号であり、それ以外は海外からの電話である。

委員：警察官騙りの電話には一度電話を切ることが有効とのことであったが、息子騙りのオレオレ詐欺にも有効か。

警察：電話を切り、実際の息子に確認をすれば被害を防げるため、有効である。

委員：車上ねらいの発生が多い場所、時間帯を教えてください。

警察：発生場所、時間帯は様々である。車から離れる際は、貴重品の持ち出しと確実な施錠に努めていただきたい。

委員：防犯カメラの設置と拡充について、関係機関に対する働きかけとあるが関係機関とはどこか。

警察：市、町の行政機関のことである。

委員：伊万里駅付近に防犯カメラを設置したいと考えているが、防犯カメラを寄付した場合に警察に管理を依頼することはできるか。

警察：警察では管理できないため、設置場所の施設管理者に管理してもらうことになる。一定の公共の空間を撮影しているという条件はあるが、防犯協会からの助成金も活用していただきたい。

委員：少年事件の検挙、補導状況について、男女の割合はどうか。

警察：暴行・傷害事件での今年の検挙は、全て男性である。少年補導で最も多い深夜徘徊では、昨年中は男性の割合が多いものの、女性の補導もある。

委員：先日、管内で未成年者誘拐事件が発生していたと思うが、家族から届出があったのか。

警察：保護者からの相談を受け、捜査を行い、犯人を逮捕している。
最近では、SNSを通じて面識のない者から事件に巻き込まれる子供達も多いため、SNSを適切に利用するための情報モラルに関する講話を行っていきたいと考えている。

委員：小中学校で薬物乱用防止講座を行っているが、子供達に薬物の怖さを伝えるため、警察官を講座に招き、薬物使用者を取り扱った際の経験談を話してもらうことは可能か。

警察：依頼があれば対応する。警察署に連絡をしてもらえば、薬物犯の取扱い経験が豊富な署員を派遣する。

5 その他

次回は、令和7年10月または11月に開催予定

6 閉会

7 視察等

協議会終了後、KYT（動画危険予測トレーニング装置）を実施